



令和2年（2020年）1月27日

ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ推進協議会

ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ2020の開催 ～未来に乗れる。未来が見える。～

令和2年（2020年）2月7日（金）及び8日（土）に、横須賀リサーチパーク（YRP）において、横須賀の将来のまちづくりを支えるモビリティ技術、サービス等について、デモや展示等を通じて理解を深めていただくイベント、「ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ2020」を開催します。

今回のテーマである「未来に乗れる。未来が見える。」を象徴するような、公道を走行する自動運転バス等の試乗体験や横須賀市内で実施した先進的な実証プロジェクトの紹介等を行うシンポジウムへの参加が可能です。

◆ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ2020のポイント

ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ2020では、15件の展示、17件のデモ（公道デモを含む）に加えて、今年度、市内で先進的な実証プロジェクトを実施頂いた方々などを講師としてお招きしたシンポジウムを開催する予定です。

① イベント会場－YRP野比駅間の自動運転バスをはじめとする多数の体験デモ

YRP野比駅からイベント会場までの約2.5kmの公道上を走行する自動運転バス（レベル2：運転支援）をはじめ、電動キックボードや歩行領域EVなど多数の体験デモを実施します。

② 今年度実施した、日本初の先進的な実証プロジェクトの成果発表

ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジの枠組みを通じて、今年度横須賀市内で実施した、日本初の先進的な実証プロジェクト、ドローン配送サービス（楽天㈱）、自動走行ロボットによる配送サービス（楽天㈱）、AI運行バス（㈱NTTドコモ、京浜急行電鉄㈱）などについて、展示やシンポジウムにおける成果発表を行います。

○ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ2020の開催概要

日時：2020年2月7日（金）【ビジネスデー】12時～17時（9時30分～12時は関係者、報道向け）

2月8日（土）【エンジョイデー】10時～16時

場所：横須賀リサーチパーク（YRP）（京急線YRP野比駅から京浜急行バス7分）

【報道発表のお問い合わせ】

ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ推進協議会事務局

（株式会社横須賀テレコムリサーチパーク、YRP研究開発推進協会）

担当：安井、佐藤

電話：046-847-5155 メール：sukamobi2020@yrp.co.jp

■ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ 2020 の開催概要

- 目的 「ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ」は、産学官で構成するヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ推進協議会（事務局：横須賀市、YRP 研究開発推進協会、(株)横須賀テレコムリサーチパーク）が横須賀をフィールドとしたスマートモビリティの開発・実証を推進し、同市における関連・周辺産業の集積を図るとともにこれらの産業資源を活用して、新たな事業の創出、社会課題の解決、地域活性化等を促進しています。この取組みを広く周知し、技術・サービス分野から利用分野まで幅広い方々とともにイノベーションを起こす契機とすることを目的としてヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ2020（スカモビ2020）を開催します。
- 開催日程 **ビジネスデー**：2020年2月7日（金）12:00～17:00
（9:30～12:00は関係者、報道限り）
エンジョイデー：2020年2月8日（土）10:00～16:00
- 場所 横須賀リサーチパーク（YRP）（神奈川県横須賀市光の丘3-4）
アクセス：<https://www.yrp.co.jp/facilities/access.html>
- 主催 ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ推進協議会
（会長：横浜国立大学 中村 文彦 副学長）
- 後援 総務省関東総合通信局、経済産業省関東経済産業局、国土交通省関東運輸局、神奈川県、（国研）情報通信研究機構、（国研）海洋研究開発機構、（特非）ITS Japan、（一社）神奈川県情報サービス産業協会、（一社）東京都情報産業協会

■プログラム概要（予定）

2月7日（金）ビジネスデー

9時30分～ 9時50分	◆開会式（開会式招待者のみ） 【場所】YRPセンター1番館YRPホール
12時～17時	◆展示、デモ（一部のデモは早く終了することがあります。） 【場所】YRPセンター1番館、その周辺
13時15分～ 17時	◆シンポジウム（事前予約者のご入場を優先します。） 【場所】YRPセンター1番館会議室1

2月8日（土）エンジョイデー

10時～16時	◆展示、デモ（一部のデモは早く終了することがあります。） 【場所】YRPセンター1番館、その周辺
10時～16時の 間で実施	◆子供向けお楽しみイベント 【場所】YRPセンター1番館、その周辺

■ご来場に当たって

※すべて無料でご入場いただけます。

※一部のご参加には、事前予約が必要です。関連情報は、**イベントWEBサイト**に掲載します。

※今後の検討により時間、場所などが変更されることがあります。

※最新情報は、**イベントWEBサイト**に掲載します。

■イベントWEBサイト：<https://www.sukamobi.com/2020>

■イベント事務局

スカモビ2020事務局（株式会社横須賀テレコムリサーチパーク、YRP 研究開発推進協会）

電話：046-847-5155（受付時間 平日 10:00～17:00）

メール：sukamobi2020@yrp.co.jp

デモンストレーション・展示一覧

種類	出展名	出展者
公道 デモ	①自動運転レベル2による公道走行デモ（乗車体験）	群馬大学、NTT ドコモ、京浜急行電鉄、京浜急行バス
	②ジョイスティック運転システムを実装し新規開発の接続マイコンを介し自動運転 AI（AI Pilot / Autoware）でコントロールする自動運転バス（乗車体験）	埼玉工業大学
	③燃料電池自動車「MIRAI」の体験試乗会	神奈川県オールトヨタ販売店およびトヨタ自動車
屋外 デモ	①未来の「観る・考える」道路へ ～スマート電子カーブミラー～	情報通信研究機構
	②プロパイロットパーキング	日産自動車
	③シェア型電動キックボード「mobby」体験試乗会	mobby ride
	④後付け遠隔操縦型 屋外運搬台車「運ん太郎」	前田建設工業、前田製作所、アストラテック
屋内 デモ	①ドローン物流を支える無線技術	情報通信研究機構
	②ライフログを簡単に収集できる端末間通信	情報通信研究機構
	③対話可能な自動運転モビリティ「パートナーモビリティ」の試乗体験	久留米工業大学
	④全方向移動モビリティ「オムニライド」	公立諏訪東京理科大学
	⑤身につけて、歩ける椅子。ウェアラブルチェア「archelis（アルケリス）」の装着体験 VR 自動運転検討用 LUX シミュレーター	archelis（アルケリス）
	⑥NEC 歩行姿勢測定システム	NEC フィールディング
	⑦HAL®（Hybrid Assistive Limb®）腰タイプ 介護・自立支援用	NEC フィールディング
	⑧歩行領域 EV の体験試乗会 ～すべての人に移動の自由を～	神奈川県オールトヨタ販売店およびトヨタ自動車
	⑨ウェアラブルチェアー	ニッター
	⑩長距離走行環境を再現した VR 自動運転検討用 LUX シミュレーター	ネクスティエレクトロニクス

展示	①ジョイスティック運転システムを実装新規開発の接続マイコンを介し自動運転 AI (AI Pilot / Autoware) でコントロールする自動運転バス (乗車体験)	埼玉工業大学
	②ロボットアーム遠隔操作体験	アスラテック
	③ドローン活用サポート	NEC フィールドディング
	④AI 運行バス×地域施設連携による健康生活創生へのチャレンジ～横須賀スマートモビリティ宣言の具現化にむけて～	NTT ドコモ
	⑤自動運転の社会実装に向けて	NTT ドコモ
	⑥Mobile SCOT	NTT ドコモ
	⑦Hyper Doctor Car	NTT ドコモ
	⑧スマートモビリティ社会の実現に向けた V2X 展開への取組み	沖電気工業
	⑨超小型 EV 展示	神奈川県オールトヨタ販売店およびトヨタ自動車
	⑩水素ステーション	日本エア・リキード
	⑪モービルアイ 先進運転支援システムとスマートシティ・ソリューション	モービルアイジャパン、インテル
	⑫TRITOWN～ラストワンマイルの移動を楽しい時間に～	ヤマハ発動機
	⑬デリバリーロボット走行デモ	Rice Robotics
	⑭ドローン配送サービス	楽天
	⑮自動走行ロボットによる配送サービス	楽天

※出展内容は、変更されることがあります。出展物の詳細や最新情報、予約申込み情報は、ホームページ (<https://www.sukamobi.com/2020/>) を参照ください。

シンポジウムプログラム

13:15	開 会
13:20	基調講演「都市交通の新しい視点に向けて」
～	シェアリングシステム、自動運転、MaaS など新技術への注目が高まる一方、地域の抱える課題の深刻さも増す中で、地域の生活の質の向上に新しい技術をどのように組み込むべきか、社会実装に向けての研究課題は何かについてご講演いただきます。
	○講師：横浜国立大学 中村 文彦 副学長（ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ推進協議会会長）
14:00	スカモビ支援プロジェクト発表およびパネルディスカッション
～	○モデレータ：横浜国立大学 有吉 亮 特任准教授（ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ推進協議会 プロジェクト推進部会/社会展開推進部会 副主査）
	○パネリスト：楽天株式会社、株式会社 NTT ドコモ、全日本空輸株式会社、横須賀市
15:30	自治体におけるスマートシティの取組発表およびパネルディスカッション
～	○モデレータ：東海大学 梶田 佳孝 教授（ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ推進協議会 社会展開推進部会 主査）
	○パネリスト：北海道上士幌町、群馬県前橋市、福島県会津若松市、横須賀市

※開始時間は前後することがあります。

■ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジについて

横須賀では、スマートモビリティの開発・実装を推進し、この成果をまちづくりに生かすことによって、地域の課題解決や、活性化を図る取組みを進めています。

この取組みにより、横須賀において次世代モビリティ社会を先駆的に実現し、日本・世界に展開することを目指します。

「ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ」は、産学官で構成するヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ推進協議会（事務局：横須賀市、YRP 研究開発推進協会、(株)横須賀テレコムリサーチパーク）が横須賀をフィールドとしたスマートモビリティの開発・実証を推進し、同市における関連・周辺産業の集積を図るとともにこれらの産業資源を活用して、新たな事業の創出、社会課題の解決、地域活性化等を促進しています。

2019年度には、横須賀市を含む提案が、経済産業省・国土交通省の「スマートモビリティチャレンジ」プロジェクトの「支援地域」や、国土交通省「スマートシティモデル事業」の「重点事業化推進プロジェクト」に選定されました。

■目標

横須賀が目指す3つのまちづくりのビジョン（「誰もひとりにさせないまち」、「新たな価値をつくるまち」、「活かに溢れるまち」）を、スマートモビリティの社会実装をつうじて先駆的に実現するとともに、これらの成功モデルを日本・世界に展開することにより、横須賀を次世代モビリティに係る新たな産業の中心地とする。

■推進体制

2018年3月、この取組みを産学官の関係団体が一体となって総合的に推進するため、「ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ推進協議会」が設置されました。

2020年1月現在の構成員は以下のとおりです。

会長	中村 文彦	横浜国立大学 副学長・教授
副会長	規矩 大義	関東学院大学 学長
委員	荒川 堯一	横須賀市観光協会 会長
委員	板倉 周一郎	(国研)海洋研究開発機構 理事
委員	岡田 英城	横須賀商工会議所 議員
委員	角野 然生	関東経済産業局 局長
委員	門脇 直人	(国研)情報通信研究機構 理事
委員	鈴木 立也	横須賀市社会福祉協議会 会長
委員	舘 聡彦	神奈川県 産業労働局産業部 部長
委員	田中 茂	横須賀市 副市長
委員	玉垣 努	神奈川県立保健福祉大学 リハビリテーション学科作業療法学専攻 専攻長・教授
委員	土井 三浩	日産自動車(株) 総合研究所 所長
委員	中村 寛	(株)NTT ドコモ 取締役常務執行役員(CTO)、R&D イノベーション本部 本部長
委員	原田 一之	京浜急行電鉄(株) 取締役社長
委員	古市 裕久	関東総合通信局 局長
委員	堀 洋一	東京大学大学院 新領域創成科学研究科先端工ネルギー工学専攻 教授
委員	吉田 晶子	関東運輸局 局長

顧問	小泉 進次郎	環境大臣、衆議院議員
顧問	上地 克明	横須賀市長